

多面的機能支援事業について

埼玉県農林部
農村整備課

多面的機能支援事業の構成

(1) 農地維持支払交付金

多面的機能を支える基礎的な保全活動



水路の草刈り



水路の点検

地目	基本単価
田	3,000円/10a
畑	2,000円/10a
草地	250円/10a

(2) 資源向上支払交付金

(2) - ① 共同活動

地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動



生き物調査



植栽活動

地目	基本単価
田	2,400円/10a
畑	1,440円/10a
草地	240円/10a

(2) - ① 長寿命化

施設の長寿命化のための活動

※取組年数や活動項目により単価が減となる場合あり



水路の補修



農道の補修

地目	上限単価
田	4,400円/10a
畑	2,000円/10a
草地	400円/10a

※ 負担割合 国：県：市町村＝50%：25%：25%

平成29年度からの主な変更点

① 経理区分の一本化

今まで資源向上支払（長寿命化）とそれ以外とで区分されていた経理区分を一本化することが可能になりました。

これにより事務作業の負担軽減が図られ、これまで以上に活動に取り組みやすくなります。

② 水田の畑地化に伴う単価の経過措置

水田を畑地化した場合に、その時点の活動期間中に限り、農地維持支払の交付単価が水田の単価を適用できるようになりました。

水稻作中心の営農から野菜等の高収益作物への転換の後押しを図ります。

③ 多面的機能の増進を図る活動における広報活動の要件化

平成29年度以降に新たに多面的機能の増進を図る活動に取り組む活動組織は、広報活動を実施することが要件化されました。

農家の方以外の多様な主体の参画を図り、農業者中心や少人数ではできなかった活動が可能になるなど、活動が充実になると同時に、活動の継続的な実施につながります。

平成28年度実績

埼玉県の実績状況

- 県内63市町村のうち、44市町村で実施
- 平成28年度末 農地維持支払 取組面積 13,041ha
活動組織数 313組織
カバー率※ 21.9%

県目標 埼玉県農林業・農山村振興ビジョン

取組面積 22,000ha (平成32年度)
カバー率※ 37%

埼玉県5か年計画

取組面積 23,800ha (平成33年度)
カバー率※ 40%

※カバー率：農振農用地（田畑）に対するカバー率

参考：全国の実績状況

- 平成28年度末 農地維持支払 取組面積 約225万ha
活動組織数 約2万9千組織
- 国目標面積 約280万ha

平成29年度実施状況①

推進状況

- 他施策と連携した推進
 - ・ 5月～6月にかけてほ場整備と一緒に市町推進キャラバンを実施（20市町実施）
- 研修会の実施
 - ・ 組織の広域化と生きもの調査に関する講演会を開催
 - ・ 県外優良事例地区を視察（栃木県）
- 全農家への周知徹底
 - ・ 農業委員会やJAの会議において、事業制度の周知・推進
 - ・ 市町村や地域機関の窓口に事業制度のパンフレット等を設置
- 事例の紹介
 - ・ 県推進会議のホームページで下記の活動事例を掲載し、継続活動組織や新規検討している団体への支援・PR
 - ・ 県内の優良事例組織を表彰

平成29年度実施状況②

平成29年度 実施見込み

- ・ 県内63市町村のうち、46市町村で実施予定 (2市町 増)
- ・ 農地維持支払 取組面積 14,153ha (1,112ha 増)
活動組織数 320組織 (7組織 増)
カバー率※ 23.8% (1.9% 増)

平成30年度 目標

- ・ 農地維持支払 取組面積 19,400ha
カバー率※ 33%

※カバー率：農振農用地面積に対するカバー率

ありがとうございました。

